

平成22年度

# 第14回 視聴覚教育総合全国大会 第61回 放送教育研究会全国大会 合同大会（東京大会）

## 大会テーマ

「ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション」

主催 全国放送教育研究会連盟 **NHK**  
視聴覚教育総合全国大会連絡協議会

日本学校視聴覚教育連盟、全国視聴覚教育連盟、全国高等学校メディア教育研究協議会  
(財)日本視聴覚教育協会／(財)パナソニック教育財団

期日 平成22年8月9日(月)、10日(火)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

## 日程

### 8月9日(月)

12:30 13:00 16:30 17:30

受付	テーマ別分科会	団体別行事
----	---------	-------

視聴覚教材・教具展示

### 8月10日(火)

9:00 9:30 12:00 13:30 16:00 17:00

受付	団体別研究 (団体別表彰)	昼食	合同全体会・記念講演	教材教具 展示研究
----	------------------	----	------------	--------------

視聴覚教材・教具展示

# 1日目[8月9日(月)] テーマ別分科会(13:00~16:30)

	テーマ	内容	指導講師	提案者等	会場
1	「豊かな心」を育む放送学習	○放送番組を活用して「豊かな心を育むには」をテーマに実践を通して研究を深めます。	堀田 博史 (園田学園女子大学)	長尾充希(坂出市立松山幼稚園) 活用番組「つくってあそぼ」 藤原靖規(枚方市立藤阪小学校) 活用番組「できた できた できた」	センター棟 309
2	教科指導におけるICT活用	○教科指導において、児童・生徒の学習効果を高めるための、ICT機器・教材を利用した実践事例を提案します。	中橋 雄 (武蔵大学)	松本典之(足立区立花畑第一小学校) 「ICT」 清水義雄(大阪市立東都島小学校) 「ICT」 菊池秀文(目黒区立東根小学校) 「ICT」	センター棟 311
3	「人間力」を育む放送番組活用	○教科番組の活用を通して「人間力」を育むための学習の進め方について、実践提案をもとに研究を深めます。	木原 俊行 (大阪教育大学)	片岡義順(川崎市立岡上小学校) 活用番組「伝える極意」 桜井淳宏(守口市立寺方小学校) 活用番組「コミ☆トレ」ほか	センター棟 310
4	ICTを活用した外国語活動	○小学校の外国語活動における、放送番組やICT機器・教材を用いた実践事例を提案します。	小泉 仁 (東京家政大学)	一場俊輔(江東区立小名木川小学校) 「電子黒板」 福山 創(川崎市立平小学校) 活用番組「えいごでしゃべらないとJr.」	センター棟 401
5	情報モラル教育について考える	○放送番組やICT教材を効果的に活用した情報モラル教育の実践事例を提案します。	原 克彦 (目白大学)	土屋亜矢子(江戸川区立東小松川小学校) 「著作権」 大山圭湖(大田区立大森第三中学校) 活用番組「10min.ボックス 情報・メディア」	センター棟 402
6	ICTを活用した授業作り入門	○電子黒板などのICT機器・教材活用の基礎的な知識や操作、授業での生かし方について研修します。	寺嶋 浩介 (長崎大学)	東京都視聴覚教育研究協議会	センター棟 403
7	放送番組を活用した授業作り入門	○放送番組を活用した学習過程作りや留意点について、具体的な実践事例や実践者からの提案をもとに研修します。	稲垣 忠 (東北学院大学)	松浦智史(守口市立橋波小学校) 活用番組「見える歴史」ほか 福土晶知(岩見沢市立美園小学校) 活用番組「時々迷々」ほか	センター棟 304
8	校内放送によるメディア活用能力の育成	○放送部・委員会の活動が活発な中・高からの実践報告と提案をもとに、校内放送活性化のアイデア、番組作りの指導の工夫、メディア活用能力の育成について考えていきます。	NHK番組制作者	三宅律子(福岡市立香椎第3中学校) 菊地達哉(岩手県立岩谷堂高等学校)	センター棟 409
9	番組制作者と語ろう	○平成22年度に放送されている学校放送番組を実際に視聴し、制作者の意図や思いを聞いたり参加者同士で意見を交換したりしながら、学校放送番組のありかた・利用のしかたを考えます。	藤村 裕一 (鳴門教育大学)	NHK番組制作者	センター棟 513
10	よりよい教材提供や利用と映像教材の制作	○映像教材の試写を行い、制作者と提供・利用者の立場からの考えを聞き、共同討議を行いこれからの教材提供や利用のあり方を考えます。	市川 昌 (江戸川大学名誉教授)	木之下研悟(NHKエンタープライズ) 村上長彦(足立区教育委員会青少年センター) 原田成夫(北村山視聴覚教育センター)	センター棟 102

## ◆全国大会関連番組

「デジタルメディアで育む豊かな心」(仮)

NHK教育テレビ 7月17日(土) 14:00~14:44(予定)

予告なく変更・休止になる場合があります。

## 2日目[8月10日(火)] 団体別研究(9:30~12:00)

### 学視連

センター棟 401

#### 「教育の情報化を推進するための課題解決」

##### 1 デジタル授業プランの活用

普通教室におけるICT機器の活用を目指して、先導的教育情報化推進プログラム調査研究協力校2校の実践事例発表と、デジタル授業プラン推進の提言

・講師 堀田博史(園田学園女子大学) ・事例発表 名古屋市立森孝東小学校/岡崎市立甲山中学校

##### 2 校務情報化推進地区からの実践レポート

校務処理のOA化が進んでいる。情報セキュリティや校務処理についての実践に小中全校で取り組んでいる東京・江戸川区の事例から学ぶ。

・江戸川区小学校情報教育研究部

### 全視連

センター棟 403

#### 「メディアによる新しい生涯学習と視聴覚ライブラリーの役割」

・助言者 照井 始(全国視聴覚教育連盟) ・司会進行 白井 浩(仙台市教育局生涯学習課)

・事例発表 渋川敏朗(宇都宮市立視聴覚ライブラリー)/市川俊雄(春日部市教育委員会視聴覚センター)

### 全視連/全国公立視聴覚センター連絡協議会:共催

センター棟 409

#### 「地域メディア(CATV、ミニFM局、タウン誌等)との連携による地域活性化と学習活動」

・助言者 吉田広毅(常葉学園大学)

・司会進行 出頭信二(茨城県潮来市立潮来小学校)

・事例発表 川本和之(福井市映像文化センター)/高見晴彦(篠山市視聴覚ライブラリー)

### 全高メディア協

センター棟 304

インターネットをはじめ、各種視聴覚機器を活用した授業実践をもとに、デジタル化に対応した教育内容や教育方法の検討。

##### 1 授業で使える動画ファイルの簡単な作成法

～ipod、PSPをメディアプレーヤーとして利用しよう～

森山 陸雄(静岡県立静岡東高等学校)

##### 2 教材研究NHK『映像の世紀』

佐々木安志(宮城県立黒川高等学校)

### 全放連

カルチャー棟 小ホール

#### 学校放送番組・NHK デジタル教材を活用した授業づくりー模擬授業を通してー

・講師 浅井和行(京都教育大学)/木原俊行(大阪教育大学)

・授業者 竹下佳余(千代田区立九段小学校)/活用番組 日本とことん見聞録(小学校5年 社会)

学校放送番組やそれに伴うNHK デジタル教材を活用した模擬授業を行います。模擬授業後には、授業者、実際に授業で番組活用をしている実践者、研究者の方々を中心にパネルディスカッションをしながら会場の皆様と授業づくりについて考えていきたいと思います。

### 一般・OB

センター棟 513

##### 1 易しいデジタル講座

電子黒板の利用からハイビジョンテレビまで

太田 泉(日本視聴覚教具連合会)/野村 清(放友会)

##### 2 高野山からのメッセージ

曼荼羅の世界からの贈りもの

東山 泰清(高野山蓮花院 大僧正)

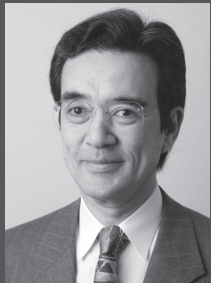
### ◆記念講演

講師:梅津 正樹(NHKエグゼクティブアナウンサー)

「ことばおじさん」こと、梅津正樹アナウンサーが「ことば」に関心を持ったきっかけは、意外にも、小学校時代。先生との面接で感じた「コミュニケーションギャップ」でした。以来、半世紀、アナウンサーとして「ことば」番組を担当しながら、これからの「ことば」・「日本語」がどうあるべきか、探求を続ける毎日です。

「『ことば』は時代とともに変化をし、その変化には、時代背景やその時代の環境が密接に関係している。それゆえ『ことば』は文化である。」と述べ、「『コミュニケーション』とは、自分が正しい、美しいと思っていることばを使うことだけではなく、相手に理解をしてもらうことが大切」と説く梅津アナウンサー。講演では、「ことば」そのものの解説に加え、「コミュニケーション」に必要なツボを紹介していただきます。

### カルチャー棟 小ホール



1948年、東京都生まれ。1972年、獨協大学法学部卒業、NHK入局。スポーツ・芸能・報道の番組を担当する傍ら、育成担当や放送用語委員を務める。2003年からは「ことばおじさん」の愛称で「ことば番組」のキャスターとして活躍。現在は、総合テレビ「みんなでニホンGO」、「お元気ですか日本列島」の『ことばおじさんの気になることば』等に出演。獨協大学言語文化学科非常勤講師として、「ことばコミュニケーション」を実践・指導。

# 申し込み方法

原則として、下記のホームページからお申し込みください。なお、ホームページからお申し込みができない場合は、☎ 03-3591-2186 (日本視聴覚教育協会) へお問い合わせください。

申込先 URL : <http://www.javea.or.jp/soutai/ichiran.html>

(日本視聴覚教育協会ホームページ内)

## ◆大会資料代等の振込先◆

三井住友銀行 日比谷支店 普通預金 口座番号：8393920  
口座名義：視聴覚・放送合同大会

## 参加費用

資料代 → 3,000 円

OB・OG → 1,000 円

## 申込上の留意点

- ・ホームページ上の例を参考に項目ごとに入力してください。
- ・申し込みは、必ずお一人ずつ入力をお願いいたします。
- ・7月30日までに申し込み及び資料代の振り込みをお願いいたします。
- ・申込後、変更が生じた場合は、電子メールやFAXでご連絡ください。

## 参加上の留意点

- ・宿泊先は紹介しておりません。ご自身で手配をお願いいたします。
- ・昼食はセンター棟2階カフェテリアまたはカルチャー棟2階レストランをご利用ください。
- ・自動車での来場はご遠慮ください。

## 問い合わせ先

### 視聴覚教育関係

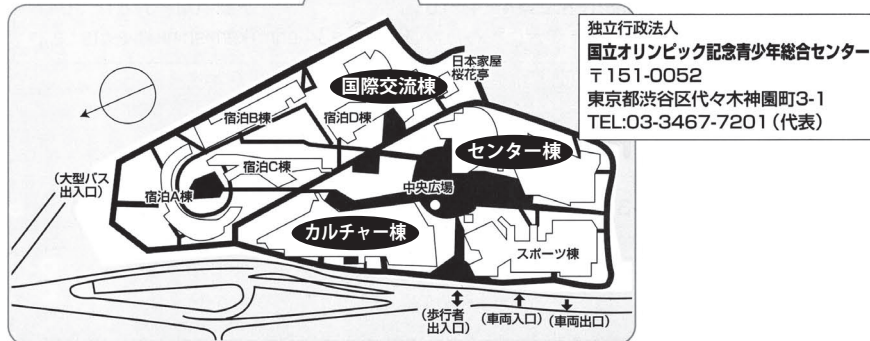
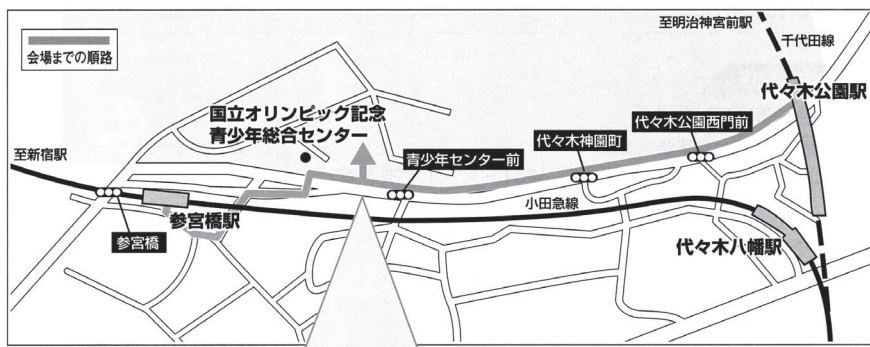
(財)日本視聴覚教育協会 佐藤  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-5 虎ノ門1丁目森ビル  
TEL:03-3591-2186 FAX:03-3597-0564  
e-mail: taikai@javea.or.jp

### 放送教育関係

全国放送教育研究会連盟 若狭  
〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHK放送センター内  
TEL:03-5455-4310 FAX:03-3481-1372  
e-mail: s02103-zenporen@nhk.or.jp

## 会場案内図

### ◆国立オリンピック記念青少年総合センター 周辺地図



## 会場へのアクセス

### ◆交通機関

**最寄り駅**  
小田急線 参宮橋駅より 徒歩約7分  
東京メトロ千代田線 代々木公園駅より (代々木公園方面出口) 徒歩約10分  
-----  
東京駅・上野駅・品川駅など山手線各駅から山手線または中央線で新宿駅のりかえ 小田急線で 新宿駅より2駅目  
山手線 原宿駅のりかえ  
東京メトロで 明治神宮前駅より1駅目  
-----  
羽田空港から  
東京モノレールで 浜松町駅のりかえ  
JR山手線で新宿または原宿駅へ  
京浜急行で 品川駅のりかえ  
JR山手線で 新宿または原宿駅へ

### ◆都内主要駅から(路線図)

